

富山大学薬学実習参加報告

- ◇期 日 事前学習 8月2日(月)
実 習 8月5日(木)～8月7日(土)
- ◇場 所 事前学習 富山中部高校
実 習 富山大学薬学部(杉谷キャンパス)
- ◇参加者 2学年希望者14名



富山大学杉谷キャンパスの薬学部で3日間にわたり「くすりの科学①～プロベネシドの合成と効果」「くすりの科学②～ジフェンヒドラミンの合成と効果」という2つのテーマのもとで薬学実習が行われた。

1日目の午前には松谷教授による有機化学についての講義と矢倉教授による有機化学を利用した医薬品についての講義が行われた。事前学習で本校の山下先生から有機化学を教わってはいたものの、やはり大学で教わる内容の講義となると新しく学ぶことが多く、講義についていくのがやっとだった。午後には各グループに分かれ実験が開始された。1日目の午後と2日目の全日を使って実験が行われたが、見たことも触ったこともないような実験器具ばかりで、実験の内容も非常に高度だった。薬学部の大学院生や



教授の先生方の指導のおかげで、時がたつにつれて皆が集中し始め、だんだん口数が減っていった。実験が終わった後の達成感は何とも形容しがたいものだった。

そして3日目には、今回の実習の目玉ともいえる動物実験が行われ、自分たちの作った薬品を実際に動物に投与し効果を確認した。私たちの実験のために尊い犠牲となってくれたマウスやモルモットに感謝したい。



以上3日間で行われた実習で私たちは数多くのことを学ぶことができた。実験途中での大学院生との交流では、普段なかなか聞くことのできないような生の学生の声聞くことができ有意義だった。今回の実験は約3日間という期間で行われたが、聞くところによると、実験によっては、それよりずっと長い期間行われることもあったり、夜通し観察する実験もあったりするそうなので、そんな実験に臨む大学生を尊敬するとともに、そのような実験をする将来の自分を考えると、大学生活が今から楽しみにもなった。

今回の実習で得た貴重な経験をこれからの高校生活だけでなく、大学生活やその後の生活にも役立てていきたい。

最後に、3日間我々を指導して下さった大学院生の方々、教授の方々、引率して下さった先生方へ感謝申し上げます。

(26H 石山 記)